

# 歴史・自然・史跡の宝庫

# 芦之湯温泉の魅力に迫る

## 特集— 芦之湯温泉の魅力に迫る

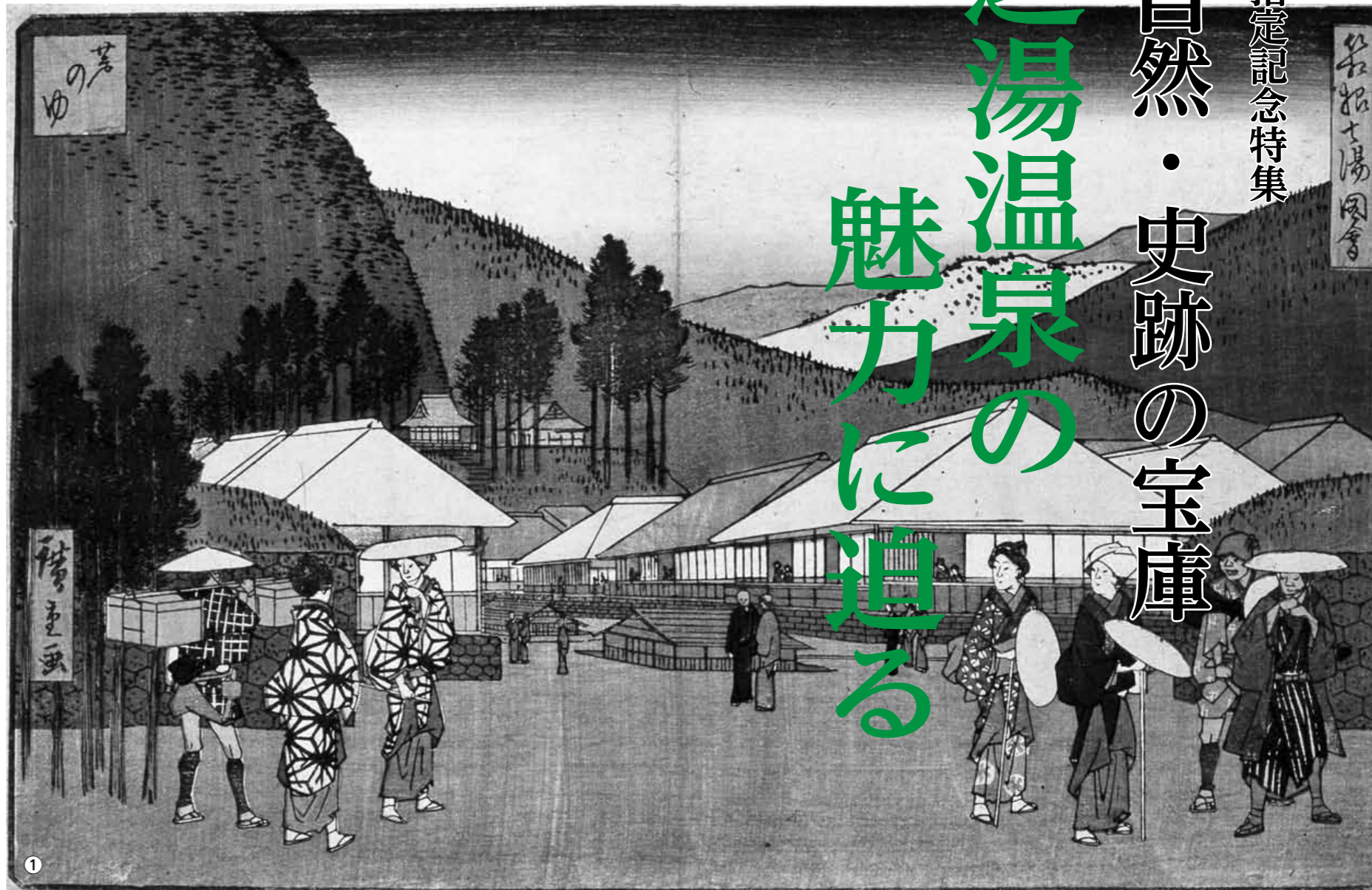


絵と写真で

見る

芦之湯温泉

いまむかし



- ①歌川広重「箱根七湯図会 芦のゆ」。人々の往来する姿に栄えていたことがうかがえ、山中には「東光庵（薬師堂）」と温泉の神様とされる「熊野権現」も見える。
- ②①と同じ位置から見た現在の様子。緑が生い茂り自然豊かで閑静な温泉郷は、美肌の湯としても人気が高い。
- ③湿原地であった名残を伝える阿字ヶ池。時季には地元の園児らがここでザリガニ釣りを楽しむ姿も……。
- ④江戸時代に文人や墨客らが集ってひとときを過ごしたという「東光庵」。この場所では毎年10月に「芦刈まつり」が催され、芦之湯に多く残る歴史を一つ一つていねいに検証し続けている。

### —国民保養温泉地に指定されるための条件（抜粋）

- ◆源泉に関する条件（効能の高さ、湧出量、湧出温度など）
- ◆温泉地に関する条件（健全性、周辺景観、保養地としての環境、温泉を利用した医療設備、スタッフの充実、交通の便など）
- ◆災害に対する安全性

### —芦之湯温泉の特長

主な泉質：硫黄泉、硫酸塩泉など  
 効能：冷え症、疲労回復、神経痛、リウマチ、皮膚疾患など



そこには、豊かな自然と温泉場としての歴史、そして地蔵信仰を代表とする史跡があります。国民保養温泉地指定を祝い、芦之湯温泉の魅力に迫ります。

江戸時代、湯本・塔之澤・堂ヶ島・宮ノ下・底倉・木賀と共に「箱根七湯」として栄えた温泉地の一つ、芦之湯温泉。標高約870m、駒ヶ岳の南山麓に位置する芦之湯は、その昔「あしのうみ」と呼ばれ、湿原だった当時の面影を、現在でも阿字ヶ池などに見ることができます。

古くから温泉地として親しまれてきた芦之湯温泉が、5月1日「国民保養温泉地」に指定されました。

国民保養温泉地は、温泉法に基づき、温泉の公共的利用増進のため、温泉利用の効能が十分に期待され、かつ健全な保養地として活用される温泉地を環境大臣が指定する温泉地です。

昭和29年、当時管轄をしていた厚生省が第1号として指定したのは、青森県の酸ヶ湯温泉、栃木県の日光湯元温泉、群馬県の四万温泉の3か所でした。以来、全国で91か所、その中には姉妹都市である北海道の洞爺湖温泉もあります。

そして今回、92か所目の指定となる芦之湯温泉は、県内では第1号の国民保養温泉地です。「美肌の湯」としても人気の芦之湯温泉が持つ魅力とは？